川西幼稚園だより

令和8年10月

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたで

富田林市立川西幼稚園

秋のお彼岸（秋分）　夜の長さと昼の長さがおんなじ「バランス」の日

夏のにゅうどう雲からいわし雲へ、秋の空が晴れ渡ります。園庭では、風を切ってかけっこを楽しむ子どもたち。

川西幼稚園の運動会は、運動会当日で終わりません。なぜならば、子どもたちの日常の延長線に運動会があり、さらにそのチャレンジした刺激と自信から、新たな「やってみたい！」が生まれるからです。

秋分は、新たな「やってみたい」を始めるために最適なのです。夜と昼の長さが等しいというバランスは、寒暖の真ん中。天秤計りが左と右で水平になっている状態です。どちらかの天秤皿にたった １ｇの分銅を載せるだけでもゆっくり動き出します。どちらに傾くにしても少ない力で始めることができるということです。いままでやってみたかったことで、なかなか始められなかったことも今ならば、少し動くだけで楽に続けていけるかもしれませんよ。

子育てにおいてもバランスは重要です。過保護・過干渉・放任どれもバランスが悪い例です。

▼過保護・・・子どもが転ばないようにと凸凹の道は歩かせない。子どもの頃に体験するべき世の中の辛苦から、親が全てを保護してしまう過剰な先回りは、「自分は一人では何もできない」と感じさせてしまいます。

▼過干渉・・・子どもの好きな色、服、遊び方、友達など、自分で決める前に親が決めて強引に勧めるプライベートの支配は親の顔色を常に窺って行動を決める。意思決定ができない依存的な子どもを育ててしまいます。

▼放任・・・子どもへの関心の薄さから食事や衣類などの物理的な世話をしなかったり、子どもの行動に関心を持たなかったりなどの状態は、子どもが「自分は愛されていない」などと孤独感を持ち、他人との信頼関係を築くのを難しくし、愛情を求めて問題行動を起こしてしまうこともあるので、心からの関心を「見ているよ」「あなたが大切だよ」というメッセージを伝えていく必要があるでしょう。

子どもの一人の独立した人格として尊重し、子どもの権利を奪ってしまわないように気を配ることも必要です。子どもには子どもの頃にくぐっておかなければならない門があります。

畑の野菜も子どもの成長も、夏の強い日照りも、冬の厳しい寒さも必要なのと似ていますね。「愛されているという安心感」があるからこそ、子どもは外の世界に向けて勇気を出して歩むことができるのです。私たちができることは、子どもの監督官や裁判官、冷ややかな傍観者ではなく、あたたかいサポーターでありたいと思います。

※富田林子どもの人権ポスターコンクールに出展した作品をご紹介します。

～ げんきいっぱい　かわにしようちえん ～

たんぽぽ
キャンプ場
だよ！！

みんなで体操をしたり、テントに入って遊んだり、友達との関わりを楽しむ姿が増えてきたたんぽぽ組の子どもたち！！

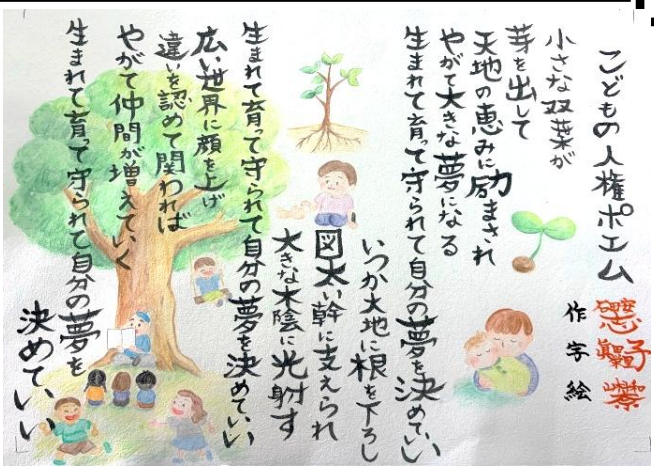
イエーイ
みんなで遊ぶと
たのしいー

キャタピラ用に用意した大きな段ボールに入ってみたよ。みんなで入るとギューギュー！！
だけど、とても楽しそうなもも組さん！！

いろいろな遊具に触れ、自分なりの目標をもって頑張っているすずらん組の子どもたち！友達と気持ちを合わせてダンスをしたり、リレーを頑張ったり、いろいろなことに挑戦しています。子どもたちが意欲的に活動する姿はキラキラしていて、とても素敵です！運動会をお楽しみに！！

　10月に入って、天候も少しずつ涼しくなり過ごしやすくなってきましたね。10月は運動会や遠足など、子どもたちにとって楽しいことが盛りだくさん！！10月も毎日元気いっぱい登園してきてくださいね！！

富田林子どもの人権ポスターコンクールに出展いたしました作品です。



育てたいこと

３歳児・自分の思いを伝え合いながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
４歳児・友達と一緒に身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
５歳児・戸外で十分に身体を動かし、意欲的に活動し達成感や充実感を味わう。

お誕生日おめでとう

１０月生まれのお友達、

お誕生日おめでとう！！